

熊本大学海外派遣留学生 報告書

(協定校サマースクール／語学セミナー)

氏名	Aさん		
所属	_____ 文 _____ 学部・大学院 _____ 歴史 _____ 学科・専攻		
留学先機関名	安徽大学 (国名:中国)		
参加プログラム 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 協定校サマースクール <input type="checkbox"/> 語学セミナー <input type="checkbox"/> その他:		
留学期間	H30年7月2日 - H30年7月10日	留学開始 時学年	_4_ 年次
奨学金 (奨学金を受給 した場合)	<input checked="" type="checkbox"/> 奨学金受給無し <input type="checkbox"/> JASSO 海外留学支援制度 <input type="checkbox"/> 国際奨学事業 <input type="checkbox"/> トビタテ! 留学 JAPAN 【第 _____ 期】 <input type="checkbox"/> その他 (_____)		

1. 出発前の準備について

ビザの申請	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 種類()	ビザ申請先	<input type="checkbox"/> 国内 <input type="checkbox"/> 現地 場所()
留学に向けて 取り組んだ語学	<input type="checkbox"/> 英語 <input type="checkbox"/> 独語 <input type="checkbox"/> 仏語 <input checked="" type="checkbox"/> 中国語 <input type="checkbox"/> 韓国語 <input type="checkbox"/> その他()語)		
勉強方法	日常で使える単語を教科書などで確認しておく		
必要経費 (留学に必要な 支払い費用) ※概算費用 (おおよ その費用)	<input type="checkbox"/> プログラム費用 0 円 <input type="checkbox"/> 宿泊費用 (寮/ホームステイ等) 0 円 <input type="checkbox"/> ビザ申請 円 <input type="checkbox"/> 渡航費 (<input type="checkbox"/> 片道 <input type="checkbox"/> 往復) 38000 円 <input type="checkbox"/> 海外旅行保険料 10000 円 <input type="checkbox"/> 食費 0 円 <input type="checkbox"/> その他() 円		

2. 渡航～到着後の生活について

利用航空会社	中国東方航空	手配	日中交流センター ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	福岡空港→上海浦東→合肥	到着 時刻	17:00 【※移動時間 (約 7 時間)】
大学 (寮) への 移動手段	<input checked="" type="checkbox"/> 大学手配の出迎え <input type="checkbox"/> 知人の出迎え <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車) <input type="checkbox"/> その他()		
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等	特になし		
宿泊先	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ その他()	宿泊 手配	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 自分で その他()
部屋の種類	<input type="checkbox"/> 一人部屋 <input checked="" type="checkbox"/> 二人部屋 その他()	ルーム メイト	<input checked="" type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの学生 その他()
その他生活に必要な 手続き、アドバイス (口座開設、保険、 携帯電話、荷物、 支払い方法など)	VPN と We Chat のアプリはインストールしておいた方がいいです。		

3. 留学先の大学について

<p>プログラムの概要について（授業・フィールドワーク内容、スケジュール等）</p>	<p>中国の現在や現地大学のことを知ることができる講義、現地の会社見学や古い街並みが残る街・村、世界遺産である黄山のフィールドワークや博物館訪問などがあります。</p>
<p>留学先大学でのサポート体制について（語学面／学校生活／住居・日常生活等）</p>	<p>とてもよかったです。生活面のサポートや日本語の通訳をしてくれる現地大学のボランティアの学生がおり、困ることはありませんでした。</p>
<p>留学開始後に行った留学先大学の手続き（学生証、履修登録、大学 ID の設定等）</p>	<p>特になし</p>
<p>休日や余暇の過ごし方（観光、現地学生との交流等） ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に</p>	<p>外出にはこのサマープログラムを運営している現地大学の先生方の許可が必要です。しかし、許可がとれれば大学の近くにある学生街で食事したりなどすると中国の学生たちの日常をのぞくことができ楽しいのでおすすめです。</p>

4. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

私は今回はじめて中国に行きましたが、そして今まで抱いていた中国のイメージよりも中国は遥かに大きいということに感動を覚えました。日本にいただけで、中国に行ったことがないのでは分らないことがたくさんあるということを思い知らされました。また、安徽省の人は他の地域よりも人が良いらしく、初めて中国に行く人にとってハードルは低いと思います。

日本語を専攻している現地大学の学生がボランティアとして通訳や身の回りのお世話をしてくれるので特に不自由はありませんでした。また、そのボランティアの人たちがいるおかげで、自分から積極的に他の国の人に話しかけなければ行動できないということはなく、ストレスを感じることもありません。もちろんボランティアの人たちだけでなく、他の国から参加している人たちともコミュニケーションをとったりする機会はいくらでもあります。とても気軽に生活ができると思います。

同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関する事など自由に記載してください）

食べ物や生活習慣は多少は違いますが、現地大学や安徽省の人々は大変優しく、大きなショックを受けることはないと思います。ただ、大学の敷地が日本の大学とは桁違いに大きかったり、移動のバスの時間が長かったり、フィールドワークで疲労がたまったりすることもあります。水分補給には気をつけ、また、常備薬を持っていったほうがよいです。

また、現地での生活は現地大学のボランティアの学生がサポートしてくれますが、その学生たちとの人間関係は大事だと思います。私達はとても友好的関係を築くことができ、楽しいサマープログラムとなりましたがボランティアの学生たちとうまくいかない、きっとプログラムを楽しむことができないと思います。ボランティアの学生たちと仲良くすることが楽しいサマープログラムの第一歩だと思います。

留学を通しての感想

日本と中国は同じアジアということもあり、文化が全く違う、ショックを受けるというほどのものではありませんでした。しかし、やはり、中国は大きかったです。湖や山に行くプログラムがありますが、日本のそれとは全く違いました。私は中国史を学んでいますが、このサマープログラムで見た中国の姿は研究をする上で常にイメージすべきであると思います。本当に貴重な体験でした。

私は今回はじめて中国に行きましたが、正直にまた行ってみたい、そう思えました。中国の自然は素晴らしく、経済の成長もまだまだ続くと思われまます。同じアジアに住む日本人として中国をよく知ることはとても大事なことだと思います。そのきっかけをくれたこのサマープログラムと、サポートしてくれた方たちに感謝の気持ちを述べたいです。ありがとうございました。

